

えがお

令和6年8月28日 第95号

坂本住民自治協議会事務局（坂本コミュニティセンター内）

TEL 45-2228・FAX 45-2283

E-MAIL: ikiiki-sakamoto@outlook.jp

「竹灯笼ワークショップ」が開催されました



酷暑の中、皆で竹灯笼を作りました。

令和6年8月1日（木）坂本地域福祉センターにて八代社会福祉協議会主催の「竹灯笼ワークショップ」が行われましたので取材に行ってきました。

このイベントは、8月15日（木）「桜十字ホール やつしろ」で19時30分から行われる「やつしろ 万灯会（まんとうえ）」の際に万灯や精霊船と共に飾られる「竹灯笼」を製作したもので、以前の精霊流しを変え、竹灯笼とともに飾り亡くなられた方のご冥福を祈るものとして令和3年から坂本地域福祉センターで開催され、本年度は第4回目となります。

「安らかに心からの祈り」「みんなで取り戻す生き生き笑顔のさかもと」文字も心を込めて皆さん作られていました。

今年は子どもでも楽しんで作ることが出来るように「竹灯笼」と併せて「紙灯笼」も制作し、三角の形をした可愛い灯笼に大人も子どもも黙々と絵を描いていました。



紙灯笼づくりを行う子供達

竹灯笼は第1回目から日奈久住民自治会の「企画イベント部会」の皆さんが日奈久温泉まちあかりを手がけていらっしゃるからアドバイスを頂きながら作業をしました。ムラがなくバーナーで竹の表面を焼いていらっしゃって凄いなと思いました。

15時頃にはほとんどの竹灯笼や紙灯笼が出来上がり、皆で記念撮影を行いました。約20名の人達が出来上がった灯笼に満足しながらにっこり「えがお」で記念撮影をしました。

来年も同時期に開催予定とお聞きしました。竹灯笼づくりに皆さんも参加してみませんか？



楽しい竹灯笼づくりでした

坂本町で働く人達インタビュー “支え合いセンター”

坂本町で働く人達インタビュー今月は“支え合いセンター”の皆さんです。坂本町が災害に見舞われた直後から坂本町の人達を支えて来ていらっしゃいます。感謝を込めて拡大版でお伝えいたします。



お忙しい中ありがとうございました。

(1) 支え合いセンターでは坂本町やみなし仮設、仮設住宅等、自宅訪問をされていますが、今は何件の訪問をされていますか？
現在は仮設9件、みなし仮設等9件となりましたが、全体で104世帯を支援中です。豪雨災害で設立した支え合いセンターは現在4か所となりました。

(2) 災害に遭われた方の困りごととして一番多かったことを教えてください。
坂本町の皆さんは自宅にお住まいの方が多く、「家を借りて住む」ということが初めての方が「敷金」の仕組みが分からない、家賃の相場が分からないとお悩みでした。年金生活から家を借りて生活する事になってしまった方々のことを思うと心配ですが、「家を建て、坂本町に戻りたいが、戻れない。帰りたいのはやまやまののだが70歳を過ぎてからは出来ない。」とのことで、出来るだけのサポートをしたいと思えます。



よんなっせカフェの様子

(3) 見守り活動で遠方にも市報等を配布されるとお聞きしましたが、現在はいかがでしょうか。

市報の提供は昨年度末で終了しましたが、熊本市内までは訪問活動を行っています。支援世帯の方々全員に暑中お見舞いや年賀状を送っていますが、「頂いて嬉しかった」と感謝の電話を頂きとても嬉しかったです。

(4) 協議会のイベント「さかもと7.4安心安全の集い」「里山めぐりえがおウォーク」も「よんなっせカフェ」を開いていただき大変ありがとうございます。サロンやカフェで行われる色々な体操は研修等で指導を受けられるのですか？

いえ、研修等ではなく、いきいきサロンを開かれる際に伺い、色々な体操等は学びます。金曜日の10時、13時は皆でラジオ体操を行い良い汗をかいています。また、「ひなたぼっこ」という中でも「こんね」を金曜日に開いており、クラフトやフラダンス等、皆でわいわいできることも行っています。皆様支え合いセンターへお気軽に遊びにきてください！



8月1日に作った紙灯笼が飾られていました



皆でラジオ体操！

坂本住民自治協議会からお知らせ

9月29日に開催予定の「わがまち復興講座」及び10月6日に開催予定の「JR 肥薩線復旧アピール活動」（肥薩線除草作業）についての参加を募集しています。詳細は今月の市報に同封しています「チラシ」をご確認ください！